

L型擁壁施工ガイド

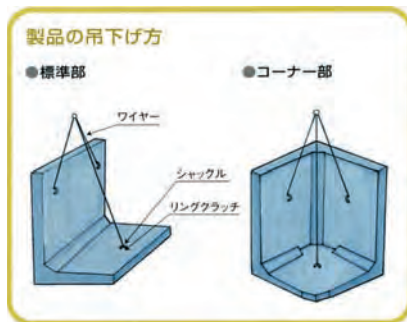
1 基礎コンクリート

- ▼製品重量や背面土転圧荷重等を受けるので、十分な養生を必要とする。
- ▼基礎コンクリート天端は、敷モルタル厚を考慮して定め、表面を平らに仕上げる。



2 製品搬入

- ▼製品の荷下ろし、据付け等に使用するクレーン車は、製品重量、接近距離等を参考にして、適切な機種を選定する。
- ▼仮置場のスペースを確保する。



3 吊金具、ワイヤーの点検

- ⚠️ 金具、シャックル等は、定められたものを使用する。
- ⚠️ 吊金具は、毎日使用する前に、変形、磨耗、亀裂等を点検する。異常があるものは使用しない。

4 吊下げ時の注意

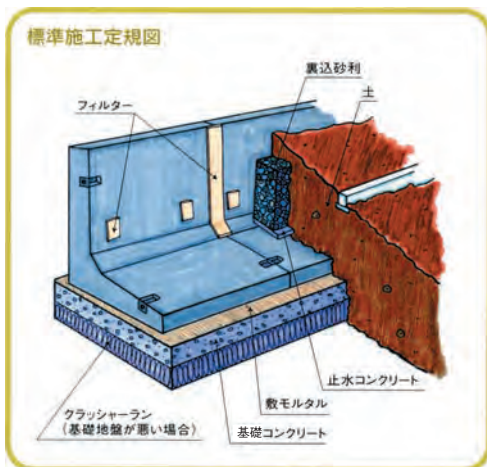
- ▼3点吊りを標準とし、吊上げ時地上より少し吊上げ、異常がないことを確認する。

- ⚠️ 吊上げた製品の下へは入らない。 →



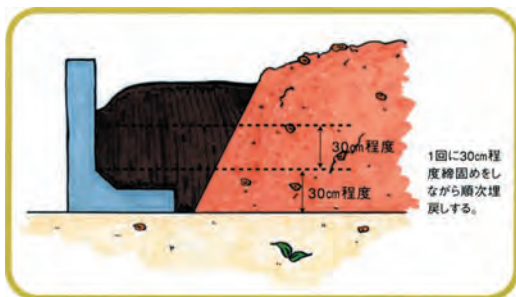
5 現場でのストック

⚠️ 製品の重心が前壁側にあるので、平らな地表面の場所で背面側に少し傾けて仮ストックする。



6 据付け

- ▼ あらかじめ基礎コンクリートの上面に、前壁位置のスミ入れを行う。
- ▼ 敷モルタルは、均等の厚みになるように定規でならす。
- ▼ 製品に衝撃を与えないよう静かに所定位置に降ろす。
- ▼ 接続金具を取付ける。
- ▼ 擁壁背面の土砂が流出することを防止するために、フィルターを取付ける。



7 埋戻し

- ▼ 埋戻し厚は約30cm程度とし、締固めしながら平坦に敷均す。
- ⚠️ 埋戻し時は、重機の接近走行はしないようにする。
- ▼ 雨水、地表面排水には十分配慮する。地表面は、原則として前壁を反対方向に排水勾配を設ける。

